

旧荒川豊蔵邸 一時公開



上：縁側で花を生けている豊蔵(昭和47年ごろ)

中(座敷)：生前の床の間には豊蔵愛蔵の軸が飾られていました。

左下(茶室)：憩いの場として、豊蔵が最も大切にされた場でした。

右下(掘りごたつの間)：豊蔵は、下張りに古文書が貼られたふすまを面白がって使っていたそうです。



人間国宝 荒川豊蔵の偉業

人間国宝の陶芸家・荒川豊蔵は、昭和5年、久々利大菅牟田洞で400年前の志野の筒絵陶片を発見しました。このことは、志野や瀬戸黒などの桃山陶が瀬戸(愛知県)で焼かれていたという陶磁史の定説を覆す大発見でした。その後豊蔵はこの地に移り住み、制作技術の途絶えていた志野を再現します。豊蔵はこれらの功績から、昭和30年に「志野」と「瀬戸黒」の技術保持者として人間国宝に認定されました。

資料館周辺を整備中

かつて美濃桃山陶を育んだ歴史、そして荒川豊蔵の偉業を伝えるため、市は荒川豊蔵資料館周辺の整備を進めています。

豊蔵の居宅や陶房、敷地内などを整備し、当地を訪れた人に豊蔵の暮らしを体験する雰囲気を感じ取っていただけるよう工夫中。

整備は、平成29年3月に完成予定です。

居宅を一時的に公開

今回、旧荒川豊蔵邸については修理・補強が完了したため、左記の日程で一時的に公開します。

当時の雰囲気再現した居宅を訪れ、志野再現に挑んだ豊蔵の心象を感じ取ってみませんか。

公開日には、荒川豊蔵資料館も無料で入館できます。

公開日 3月18日(金)～21日(月)、3月25日(金)～27日(日)

時間 午前10時～午後3時30分

問合先 可児郷土歴史館 ☎021-1

見学バスツアー

期日 3月25日(金)

時間 ①午前10時～正午 ②午後1時～3時

※10分前に集合してください。

集合場所 市役所正面玄関

定員 各30人(先着順、要事前申込)

参加費 無料

申込・問合先 観光交流課

豊蔵作の茶碗で楽しむ 呈茶サービス

一時公開期間に合わせて開催する3館スタンプラリー(荒川豊蔵資料館、可児郷土歴史館、兼山歴史民俗資料館)では、ポストカードなどですてきなプレゼントがもらえます。

さらに全館を巡った人は、特別企画の呈茶サービスに応募できます。

期日 4月11日(月)

時間 ①午後1時30分 ②午後2時30分

場所 旧荒川豊蔵邸(久々利)

定員 各4組(1組2人、抽選)

申込期間 3月18日(金)～27日(日)

問合先 可児郷土歴史館 ☎021-1